

令和3年8月16日

## 南の風東京 2020 オリンピック特集号IV

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

いよいよ第4Qです。得点は、日本61-68ベルギーがリードです。

スタートは、町田、林、高田、赤穂、宮澤選手です。

ベルギー11番ミースマン選手のペリメーターシャンプショットで始まります。

日本はここでミースマンに激しくダブルチームを仕掛け、タフショットを誘う。そしてリバウンドから反転攻撃にうつる。直後に宮澤の3Pシュートが決まる。ベルギーもすかさずドライブからシュートを決め返す。日本は町田のドライブから、再び宮澤にキックアウトパスが通り3Pシュートが決まる。

(日本67-72ベルギー)

強度を上げた日本のディフェンスに対して、ベルギーのシュートが落ちる。リバウンドから高田が走り、ゴール下のシュートを決める。ベルギーたまらずタイムアウト。日本のタイトなディフェンスでベルギーがストレスをためる。ボールの回りが悪くなる。日本は相手のバイオレーションから、ボールを回してトップから高田が3Pを沈める。72-72の同点。

その後町田のドライブからのレイアップ(右手から左手に持ち替えてのショット)は惜しくも外れる。ベルギーは苦しい中、左ウイングから3Pシュートが決まる。日本も負けじと宮澤が3Pシュートを入れ返す。ベルギースローインからリターンパスを受け3Pシュートを決める。日本は町田のドリブルエントリーからパスをさばいて、高田のローポストに合わせて2Pが決まる。(日本77-78ベルギー)

ベルギーは日本のターンオーバーから、ミースマンに合わせてペイントジャンプショットが決まる。ミースマンはこのゲーム24得点。続けてミースマンがペイントでボールを受けベビーフックシュート。これに高田がファウル。日本がタイムアウト。ミースマンがフリースロー1本決める。

(日本77-81ベルギー)

その後、町田のペイントドライブに対してベルギーがアンスロを取られる。フリースロー2本入れて日本がボールポジション。直後赤穂のドライブシュートが決まる。(81-81同点) 残り1分45秒。

ベルギー、ドリブルスクリーンからダイブして得点する。日本はすかさず町田がドライブしてエンドラインから合わせる高田にノールックパス。高田のバックシュートが決まる。(83-83同点)

ベルギーのエンドラインドライブからのショットに、高田がファウルしてベルギーのフリースローが2本決まる。(日本83-85ベルギー)

そして、いよいよ歴史的瞬間が訪れます。フリースローが決まった瞬間残り時間は、37.4秒でした。日本はタイムアウトを取る作戦もありましたが、ここは取りませんでした。町田選手がドリブルでフロントコートに入って時点で、残り32.9秒。町田選手がドライブしてターンし、ドラッグして合わせる林選手にパスした時点で、残り18秒。パスを受けた林選手は、3Pシュート体勢からシュートチェックをフェイクで交わし、さらに二人目のシュートチェックをものともせず、しっかり打ち切り見事に決めます。残り、15.2秒。ベルギーがタイムアウトです。その後、日本は時間を潰すようにオールコートでディフェンスします。残り2秒でベルギーのジャンプシュートが外れます。日本がバスケットボール史上初めて、ベスト4に進んだ瞬間です。見事、日本女子代表が歴史を創りました！！！